

# 大戸沢岳

1991. 5/18(月) ~ 5/19(火) 快晴 単独

## 馬場.

朝、起きると磐梯山が昨日とは、嘘のように快晴で全容を現し  
実に見事な眺めた。

朝食後車で檜枝岐、民宿清水屋に着いた。時間がはやいので  
途中まで登ることにする。林道を登り途中から左の尾根にとりつき1050  
メートルのアンテナのある広い尾根に出る。

久しぶりの重い荷物に苦勞する。月曜で登山者もなくたった一人  
ゆっくり広い尾根を登行する。1450メートルからは緩い広い尾根が  
ブナの林からシラビソの針葉樹に変わる。右前方には、明日登る大  
戸沢岳の白銀の稜線が美しい。1700メートル地点に着きツエトを張  
る。夕食は、味噌汁、かんづめ、農協米の貧しいものだ。うっかりしてアロ  
ールを忘れてしまったので紅茶を飲む

## 5/19(火)

四時起床、空にはまだ星が眩いばかりに輝いていた。ラーメンの簡  
単な朝食を済まし出発する。東の会津高野の山から太陽が登る。

針葉樹の間を登行し1990Mの無立木の斜面に出る。更に登行し  
て馬の小屋をまわり2102Mの馬の岳の頂上に着く、三百六十度の見事な  
展望を楽しみ、シールを着けたまま、2088Mの無名峰を通り大戸沢岳  
2089Mの広い頂上に達する。左に上大戸沢岳が落ちこみ、右に下大戸沢  
がきれこみ左には、三岩岳が聳えていた。好天でこれから滑る尾根がは  
きり見渡せるので迷う心配は無い。始めた大な斜面で無立木で視界の  
悪い日は大変だろう。背中のリュックが重いので慎重に滑り降りる。途中  
低木の枝の下から兎が驚いて逃げた。1660Mではおりに尾根  
に出る。

風も弱まりブナの疎らな滑り易い斜面を快調に滑る。1550Mの屋根を滑ると急なカモシカが現れ下大戸沢に足速に逃げ去る行方。1386Mを過ぎ屋根がせまく傾度が急なため滑り易く屋根をはずさぬよう高度を下げる。下大戸沢を左に見ながら緩い斜面を滑り国道の52線の道筋がある。十一時四十分頃のバスに間に合わなかったのが残念だった。檢枝岐に向かい国道を歩く途中荷物をデカイ車でとり来て民宿の湯き村営の公衆浴場に入り汗を流す。今ワ一中登山者は合わす一人以外の集いアップルアップ。

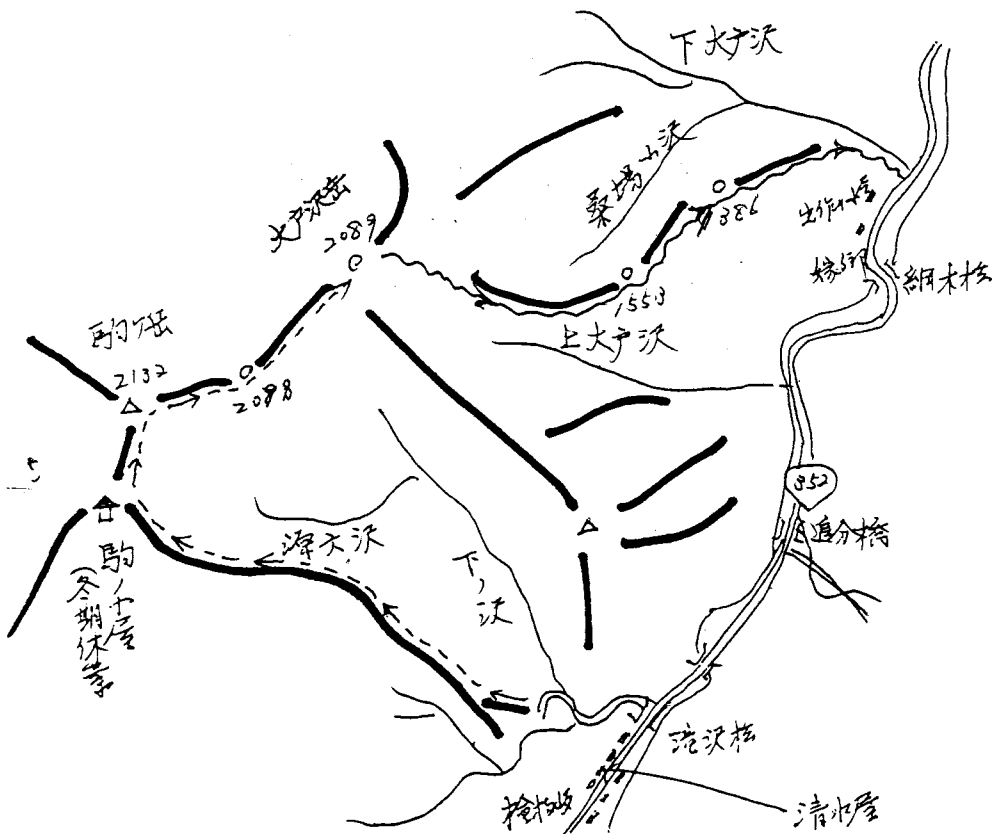
### コースタイム

9/18(月) 滝沢橋 12:00 → 1700M地点 14:00 →

9/19(火) 出発 6:00 → 駒ヶ岳頂上 9:00 ~ 9:10 →

→ 大戸沢岳 10:10 ~ 10:20 → 1660M 11:00

→ 1386M 11:00 → 国道 12:00



つぎに巨大な1025Mへの急登が何回かキョクンしてない